

思春期・周産期の現場から 考える LGBTQ+ 当事者の健康課題と助産師の役割

本研修は

＊開業助産師ラダーⅠ承認制度科目

3-3)セクシャル・リプロダクティブ・ヘルツ/ライツに基づく支援

＊CLOCMiP®の認証申請（2022年以降の選択研修）に活用できます

助産師は、妊娠・出産・育児だけではなく、性と生殖のプロフェッショナル！
ひとりひとりが生きやすい多様な社会を目指して私たちができることを学びましょう。

[講師]

日高庸晴先生

宝塚大学看護学部教授

プロフィール

京都大学大学院医学研究科博士後期課程修了、博士号（社会健康医学）取得。

カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部研究員等を経て現職。

性的指向と性自認に関する専門家として、文部科学省の教職員向け資料の作成協力や、法務省企画の人権啓発映像（YouTube再生約275万回）の監修を行う。

これまでに文科省、厚労省、法務省、最高裁判所、地方公共団体などでの研修講師を多数歴任。2023年には内閣府の有識者ヒアリングで調査報告を行う。監修したDVD教材は文部科学省特選を受賞。

NHK「ハートネットTV」「視点・論点」をはじめ、マスコミ出演実績も多数。

[日時] 令和8年10月31日(土) 11:00～14:00(ランチ休憩1時間)

[対象] 北海道内 在住の助産師

[定員] 30名

[参加料] 無料 ※ランチ代実費1000円程度会場にて集めます

[会場] 北見市民会館4号室 <通称：北ガス市民ホール>
(北海道北見市常磐町2丁目1番10号)

[申込方法] フォームより申込みをお願いします

<https://forms.gle/eWnNx2qUsBsvU9Ew6>

※北海道助産師会からのメールを受け取れるよう

迷惑メール設定の確認をお願いします。

受信拒否された際は、受講の対応ができかねます

のでご了承ください。



申込締切

10月7日(土) 24時

問い合わせ先：hokkaido.midwife+kensyuu@gmail.com



主催：一般社団法人 北海道助産師会